

平成27年（2015）9月3日～7日

平成27年度（2015）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成27年度（2015）第3回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月3日（木） 10:00 開会			9月4日（金） 10:00 開会			9月7日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	米山広志	3	1	井原優	11	1	板垣成二	20
2	珍部全吾	4	2	福島孝雄	12	2	小村吉一	21 ～ 22
3	川上幸博	5 ～ 6	3	多々納剛人	13	3	湯浅啓史	23
4	板倉一郎	7	4	大場利信	14 ～ 15	4	神門至	24
5	福代秀洋	8	5	松村豪人	16	5	伊藤繁満	25
6	大谷良治	9	6	保科孝充	17 ～ 18	6	原正雄	26
7	岸道三	10	7	寺本淳一	19	7	勝部順子	27

質問者	27	米山広志	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 国宝松江城について		市長	
① 当時の出雲地域の社会生活のようす ② 出雲市民への周知広報活動			
(2) 出雲市コミュニティセンターの雇用形態、職員体制のあり方		市長	
① 議会への説明 ② 関係する庁内での内部協議 ③ 実施に向けての計画（スケジュール）			
(3) マタハラ・パワハラ・セクハラについて			
① 職員研修の内容 ② 事案が起きたときの対処 ③ 啓発活動		市長	

質問者	32 珍 部 全 吾		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 地方創生出雲版について		市長	
<p>① 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p>ア 市の基本的考え方</p> <p>イ 具体的な提案は見られないがこれらの戦略をどう実践するのか。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出雲版CCRCの創出 ・医療ツーリズムなど医療・福祉・企業等の新たなビジネス等 <p>ウ 国はもっと新たな戦略を求めていると思うが、他県・他市との連携していく計画はないのか。</p>			
(2) 出雲における戦中、戦後の歴史教育について		教育長	
<p>① 戦中、戦後の歴史教育についての教育長の所感</p> <p>ア 靖国神社</p> <p>イ 大陸進出</p> <p>ウ 日米開戦</p> <p>エ 終戦について</p> <p>オ 戦後日本の独立について</p>			

質問者	22 川上幸博	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 空き家対策の現状と今後の対応		記事
<p>① 空き家対策取り組みの現状について</p> <p>ア 市が把握している空き家の件数（内、老朽危険空き家の件数）</p> <p>イ 空き家に関する相談状況（件数、内容、対応など）</p> <p>ウ 空き家等対策協議会、空き家等連絡会議での議論等の活動状況</p> <p>エ 空き家等連絡協議会の中で言われている課題とは。今後計画されている空き家管理台帳の利用方法は。</p> <p>② 空き家対策の今後の取り組み対応について</p> <p>ア 定住促進、まちづくりの視点から空き家の利活用推進が求められます。現在の施策を全市的に拡大するとともに、長期の放置空き家解消のため所有者、管理者からの申請に基づき空き家解消策を行うことが必要と考えるが、所見を伺う。</p> <p>イ 空き家対策に要している、経費は幾らか。</p> <p>ウ 施策充実のため組織体制の強化と国のモデル事業に応募する考えはあるのか。</p> <p>エ 出雲市として、今後空き家を増加させないために、防犯、防災の為に、撤去費や改修し再利用の為に補助制度や外部人材を活用し定住振興策を検討する考えはないか伺う。</p>		市長
(2) 菌の長浜土砂管理計画（案）について		
<p>① 島根県によって策定された「菌の長浜」土砂管理計画（案）について伺う。</p> <p>ア 土砂管理計画（案）の今後の作業工程は。</p> <p>イ この計画についての出雲市のかかわり方は、どのようにされるのか。</p> <p>ウ 出雲市の関係部署を一元化し県、国と一緒に土砂管理を行うことが必要と考えるが対応をいかにされるのか。また、土砂管理を行う上での課題及びその調整方法を伺う。</p>		都市建設 部長
(3) 学力調査について		
<p>① 毎年度、結果の分析、課題の改善が図られているが、今年度の結果を見られ昨年までの改善策がどの程度成果として表れているのか伺う。</p>		

<p>② 調査結果上位県との基本的な差異は何があると考えているのか伺う。また、その差異の解消の為、改善策を立て、実行することが必要と考えるが教育委員会としての見解を伺う。</p> <p>③ 各種の体験活動が学びの基礎になると考えるが、体験活動を重視し、目的意識を生徒児童に持たせることが学力向上策の一つになると考えるが委員会の所見を伺う。</p>	教育長
---	-----

質問者	20 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 子どもの快適な教育環境について		市長	
<p>① 教育環境の整備についての基本的な考えを伺う。</p> <p>② 幼稚園、小学校、中学校のエアコン整備について伺う。</p> <p>ア 現在の設置状況について伺う。</p> <p>イ 今後の設置計画について伺う。</p> <p>ウ 小中学校の普通教室を早期に実施すべきと考える、その考えについて伺う。</p> <p>エ 幼稚園の預かり保育室の設置について伺う。</p> <p>オ 災害時の避難場所としての視点でも必要と考えるが、その点について伺う。</p> <p>③ 幼稚園、小学校、中学校のトイレの洋式化について伺う。</p> <p>ア 現在の設置状況について伺う。</p> <p>イ 今後の設置計画について伺う。</p> <p>ウ 一部でも早期に実施すべきと考える、その考えについて伺う。</p> <p>エ 災害時の避難場所としての視点でも必要と考えるが、その点について伺う。</p>			
(2) 市の環境美化活動について		市長	
<p>① 市では、いわゆるゴミのポイ捨て禁止条例を制定しているが、次の点を伺う。</p> <p>ア 現在の取り組みについて伺う。</p> <p>イ ゴミのポイ捨ての現状をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>② コンビニエンスストアが増え、それに伴いゴミのポイ捨てが増加している。そのことについて次の点を伺う。</p> <p>ア 現状をどのように認識しているのか伺う。また、対策を考えているのか伺う。</p> <p>イ 市民の中には、ウォーキングや散歩の時に、ポイ捨てのゴミを回収分別し、そのゴミをコンビニエンスストアに協力してもらい引き取ってもらっている方がいる。そのような取り組みを全市で広げてはと考えるが、市の考えを伺う。</p>			

質問者	23 福代秀洋	
質問事項・質問内容	答弁を 求める者	記事
(1) 旧出雲市北部地域の道路整備について		
<p>① 次の道路路線（主として旧出雲市北部地域）について今後の整備見通しと市の考えをうかがいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 境港出雲道路 イ 矢尾今市線 ウ 今市川跡日下線 エ 北本町谷田谷線 	都市建設 部長	

質問者	1	大 谷 良 治	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 平田小学校屋内運動場について		教育部長	
① 建設に向けた対応について ア 進捗状況と今後のスケジュール			
(2) 子ども子育て（出産）について		健康福祉 部長	
① 陣痛が始まった際の移動時の現状と課題 ② 陣痛タクシー（マタニティタクシー）について ア 事例把握 イ 市としての働きかけ			

質問者	2	岸 道 三		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 公立学校施設におけるエアコンの整備について			教育長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市の公立学校におけるエアコンの設置率（保育所・幼稚園・小学校・中学校） ② 「第1回出雲市総合教育会議」での主な意見 ③ 普通教室へのエアコン設置における計画策定の考え 				
(2) 地域におけるバス交通の確保について				
<ul style="list-style-type: none"> ① 交通空白地域の基準及び対象地域 ② 交通空白地域における移動手段確保の現状と課題 ③ 運行協議会の設置状況と課題 ④ バス交通の確保について、今後の運行協議会との関わり 			市長	

質問者	10 井原 優		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 介護保険制度について		市長		
<p>① 第6期の本市の介護保険料の基準月額が5,820円となりました。厚生労働省の集計によると、今後さらに全国的に保険料は増大するとしています。かつて、「月額5千円が高齢者の負担の限界」と言われていたが、上昇を続ける介護保険料をどうするかは介護保険事業最大の問題です。この保険料の問題などについて伺います。</p> <p>ア このような事態をどのように考えていますか。一般財源で支援する考えはありませんか。</p> <p>イ 今年8月から、利用者負担が「合計所得160万円以上」は、1割から2割に引き上げられました。市として必要なサービスの利用控えが起きないように十分配慮した救済・軽減策を考えていないか伺います。</p> <p>ウ 今度の改定で、要支援者のホームヘルプサービス（介護予防訪問介護）、デイサービス（介護予防通所介護）は、地域支援事業に移行することとなっていますが、どのように実施されるのか、市としての計画などについて伺います。</p>				
(2) マイナンバー制度について		市長		
<p>① マイナンバー制度について伺います。</p> <p>ア 市民がほとんど認知せず、必要としていない、マイナンバー制度についてどのように周知対応しますか。</p> <p>イ 現在、国会でマイナンバー制度の利用拡大が審議されています。マイナンバー制度は、現在も含めて、今後どのように活用されて行くのですか。</p> <p>ウ マイナンバーが漏えいされ、悪用されるなど問題は起きませんか。</p> <p>エ 問題（個人情報流出）が起こった場合の、自治体の対応はどのようになっていますか。</p>				
(3) 高齢者福祉タクシーについて		市長		
<p>① 高齢者福祉タクシー事業について伺います。</p> <p>ア 想定される対象数は。</p> <p>イ 利用者数は。（数年間）</p> <p>ウ この事業への市民の声は。（評価、問題点など）</p> <p>エ 歩行の困難な人などには、バス停500m以上は緩和すべきだと考えるがどうですか。</p>				

質問者	7 福 島 孝 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) マイナンバー制度の取り組みについて		
<ul style="list-style-type: none"> ① マイナンバー制度の周知について伺う。 ② 導入のメリット及び、セキュリティー対策を伺う。 ③ 当初は社会保障分野・税分野・災害対策分野に限られるが、将来における利用拡大について伺う。 ④ 各種証明書のコンビニ交付の考えを伺う。 ⑤ 企業側の対応の状況を伺う。 		市長
(2) 出雲市の農業の動向について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 平成27年産米の概算金の状況について市の見解を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 農家（組織）の経営状況 イ 収入影響緩和対策（ナラシ対策）への影響 ② 飼料用米作付けの現状と今後の見通しを伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 今後の需要と供給のバランスと乾燥・保管施設の状況 イ 飼料用米と加工用米との関係と収益 ③ 耕作不利地域の集落営農の現状と、未組織地域における組織化の進め方を伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 耕作不利地域での営農組織の現状 イ 集落機能と営農マネジメント機能の両立について 		農林水産 部長

質問者	21 多々納剛人		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 一級河川斐伊川の河川区域内に残されている民有地について伺う			市長	
<p>① 斐伊川にはなぜ現在の民有地が残ることになったのか歴史的経過を伺う。</p> <p>② 現在、出雲市の斐伊川河川区域内に残されている民有地の区分や面積、地権者数を伺う。</p> <p>③ 民有地の農地の多くは耕作放棄地となっていると思われるが現況を伺う。</p> <p>④ 平成30年には減反政策が廃止される事や、農地として税制上優遇されている耕作放棄地の固定資産税を現行の2倍にする方針などが示されるなかで、このような河川区域内農地の耕作は歴史的経過や現況からみて不可能と言わざるを得ず、結果政策的影響が出るのではないかと懸念を持つが市の見解を伺う。</p>				
(2) 自治会等応援条例の実効性確保に向けた今後の取り組みを伺う			市長	
<p>① 条例には法令に関する委任事務について定める条例など、市民の権利・義務に関する条例の他、本年議員提案によって定められた自治会等応援条例のように地域ニーズに対応して定める特色のある条例がある。しかし、その実効性を確保するには課題も多く、行政、議会はもとより市民の皆様の理解と協力が不可欠と言えます。</p> <p>ア 条例の実効性を確保する上で、市の基本的な考えを伺う。</p> <p>イ 条例で明記されている基本理念の浸透や、それぞれの主体に求められる役割・責務について、どのように啓発を図るのか伺う。</p> <p>ウ 自治会加入率の低下が著しい一部地域では選択校区制度が地域コミュニティに与える影響が以前から指摘されているが、その検証は現在も進められているのか伺う。</p> <p>エ 自治会加入を推進する一方で負担感から自治会、町内会から脱会されたケースも見られる事など、条例作成時の協議では、自治会負担の在り方など、一定の課題整理を行ったが、この度の自治会等応援条例制定に伴い、市が取り込まれる今後の課題への対応を伺う。</p>				

質問者	9 大場利信	答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容			
<p>(1) 出雲市での今後の医療の供給体制について</p> <p>① 社会保障改革国民会議報告（H25年8月）では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加（2025年問題）、国民医療費の抑制 ・「病院で医療を完結する」スタイルから「地域で医療を完結する」スタイルへ ・それに伴い、従来県（保健所）が実施してきた医療サービスの把握や医療と介護の連携を意図した調整やマネジメントを今後は市が担うこととされた。 <p>この大きな流れの中、今後の出雲市での医療供給体制について以下に伺う。</p> <p>ア 出雲圏域（＝出雲市）における現在の機能別の病床数を伺う。</p> <p>イ 「在宅医療」の意味を伺う。</p> <p>ウ 「在家庭」の場合「かかりつけ医」との連携が大切になってくるが、これの具体的方策について伺う。</p> <p>エ 「病院から在宅へ」の流れの中で、介護施設や訪問看護等が大きな役割を担うこととなるが、これらの整備について伺う。また消費税の増額分を原資とする「地域医療介護総合確保基金」の活用についても伺う。</p> <p>オ 地域医療を円滑に推進するインフラとして「まめネット」の活用・普及が大切と考えるが、これについて伺う。</p> <p>カ 県（保健所）の事業であった「在宅医療・介護連携推進事業」がH27年4月からH30年4月までの間に市の事業とすることとされているが、これの検討作業状況について伺う。</p> <p>キ 円滑な市への移行への県（保健所）の支援および連携、保健師をはじめとする専門人材の確保について伺う。</p>		市長	
<p>(2) 日本語指導が必要な児童・生徒に対する日本語教育の実施について</p> <p>① 本市における外国籍の児童・生徒の数は年々増加の一途をたどっているが、外国籍の児童・生徒の「日本語教育」について、以下伺う。</p> <p>ア 外国籍の児童・生徒について、住民登録されている学齢期（6歳～15歳）、学齢期前、学齢期後20歳までのそれぞれの最新の人数</p> <p>イ 学齢期の児童・生徒のうち不就学者の数</p> <p>ウ 小学校および中学校への就学者の日本語による日常会話のレベル</p> <p>エ 県への重点要望に「就学前、編入学前の日本語指導など、課題解決のための施策を検討し、実施すること」とあるが、その趣旨と内容</p>		市長	

- | | |
|--|--|
| <p>オ 本市において学齡期前あるいは編入学前の児童・生徒がより早く日本語や学校に慣れるため、NPOやボランティアによりプレスクールを実施しようとする動きがあるがこれについての所見</p> <p>カ 併せて、本市の日本語指導教員の増員に向け引き続き頑張っていたきたい。</p> | |
|--|--|

質問者	17 松村豪人	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 市立総合医療センターの運営状況は		記事
<p>① 市立総合医療センターは、公的医療機関として長期安定的に運営が求められる。国の診療報酬改定等医療を取り巻く環境が変化しているが、現状を伺う。</p> <p>ア 国の診療報酬改定が経営に与えた影響</p> <p>イ 2014年度はマイナス改定であったが、その影響額</p> <p>ウ 一般会計からの繰出金の状況</p> <p>エ 病床再編の動きがあるがどう対応する考えか</p> <p>オ 市立診療所の利用状況は</p>		市長

質問者	1 2 保 科 孝 充		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 地域を守る消防団活動の活性化について		市長	
<p>① 今後の消防団活動の活性化へ向けての考えを伺います。 ア 出雲市消防団再編計画の概要はどうか</p> <p>② 出雲市消防団員の現状について伺います。 ア 平均年齢 イ 平均勤続年数 ウ 職業別人数 エ 勤務先の職場の理解はどのような実態か</p> <p>③ 出雲市女性消防団員の現状について伺います。 ア 定数と団員数 イ 任務と具体的な活動状況 ウ 市民の認知度はどのように考えているか</p> <p>④ 全国的な傾向として男性消防団員が減少し女性消防団員が増加している中で、出雲市では今後どのように考えていますか。</p>			
(2) 斐川町新川周辺道路等の計画的な整備について		市長	
<p>① 企業の進出に伴う通勤、生活道路の整備について伺います。 ア 都市計画道路の見直しに伴う一部廃止路線の車の流れについて、将来的にみて影響はないのか。 イ 都市計画道路の一部廃止についての地域説明会、パブリックコメントの意見についてどのように考えているのか。またどう生かすのか。 ウ 廃止が検討されている路線は約2メートルの市道が通っている。この道路を生かす道はないのか。 エ 民間アパートの建設等様々な話を聞くが、市として計画的な考え方で整備を進める必要があると思うがいかがか。</p> <p>② 陸上自衛隊旧出西訓練場跡地周辺の道路について伺います。 ア ローソン斐川出西店付近の交差点について、変則的な交差点で時間差のある信号機でもあり、改良の必要がある。渋滞にもつながり、戸惑う運転者も多く交通安全の一環としても用地の一部を財務省から無償譲渡され改良できるのではないかと。短期には出来なくても敷地の確保はすぐにでもできると思うがいかがか。</p>			

イ 都市計画道路の西側延長線上、滑走路敷地の南側に道路部分としての用地が確保されている。道路として整備されれば滑走路部分約3ヘクタールまた同じ面積程度の南側の畑と合わせて、住宅用地等としての利用価値は大きい。整備の考えはいかがか。		
---	--	--

質問者	5 寺本 淳一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 出雲市学校施設整備・耐震化事業について		
<p>① 現在、市では耐震化中期計画による事業が進められています。しかし、国庫補助率嵩上げ措置が本年度で終了する予定となっています。そこで伺います。</p> <p>ア 本年度終了時点で、中期計画と比較しての進捗率。</p> <p>イ 市全体の公立学校の耐震化率は。</p> <p>ウ 島根県内では出雲市と益田市が耐震化率が全国平均未満であり、文部科学大臣から「できるだけ早期に公立学校施設の耐震化が完了することを目標に、今年度に事業の前倒しを行うなど、一層積極的に取り組んでいただくよう、改めて強くお願いします。」と書簡を发出されていますが、これに対して計画の見直しはされるのか。</p>		教育長
(2) 出雲市文化・スポーツ活動激励金の対象大会拡充について		
<p>① 今年の第46回全国ママさんバレーボール大会の県予選（県ママさんバレーボール連盟、県バレーボール協会主催）があり、旧出雲市のチームが優勝し全国大会のキップを手に入れました。昨年も斐川町のチームが全国に行かれたと聞いています。しかし、対象となる大会の部門ではなく、断られています。そこで伺います。</p> <p>ア 文書内容に対象大会以外でも「その他市長が認めた上記に準ずる文化・スポーツに関する各種全国大会」とありますが、ママさんバレーボール大会については、市長が認められなかったということでしょうか。</p> <p>イ 市長が認めた上記に準ずる大会とはどのような大会か。また、過去に認められた大会があるのか。</p> <p>ウ 全国的に認知度も高く、市内の体育協会はもちろん各都道府県でも盛んに行われている大会です。対象大会の枠に入れてもおかしくない大会であると思いますが、考えを伺います。</p>		市長

質問者	14 板垣成二	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 空き家対策について		記事
<p>① 本年2月に施行された空き家対策特別措置法は、一部条文の施行が留保されていましたが、5月26日から完全施行されました。これまで市長は、市でも国の動向を見ながら必要な条例制定を目指すと発言されてきました。そこで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 空き家対策特別措置法の要点と市の対応 イ 出雲市における空き家条例制定に向けての進捗状況及び検討内容 ウ 出雲市における空き家予防対策の現状と課題、今後の方針 エ 出雲市における空き家活用策の現状と課題、今後の方針 <p>について伺います。</p>		市長

質問者	15 小村吉一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
<p>(1) 公共施設の使用料の見直しを問う ～コミセン・学校施設を中心に～</p> <p>① 公共施設の使用料の見直しについては、「市民に十分周知徹底する」とのことであったが、今も周知徹底は十分と思えず、疑問、不満、反対の声などを聞くが、この間にどのような周知徹底を行ったのかを伺います。（コミセン・学校施設を中心にその間に聴いた市民の声など）</p> <p>② コミセンの使用料は、「個人や私的グループ・事業者等の公共的目的以外の使用について」は徴収するとされています。「公共的目的」とは、市はどのような概念で使われているのか伺います。</p> <p>③ 直近の年度で、同じように使用すれば今度から有料となる使用例が市全体でおよそ何件位あり、それは全体の何%位になりますか。（コミセンと学校を区別して）</p> <p>④ コミセン・学校施設を有料化すると単年度にいくら収益があると想定されているのか伺います。（コミセンと学校を区別して）</p> <p>⑤ コミセン・学校へは、市民は財政的に支援も行っていません。その総額は、単年度でいくらなのか伺います。</p> <p>⑥ コミセン・学校の有料化は、施設の本来の目的や市民の活動の活性化、手続きの煩雑さなど費用対効果などを考える時、市民が使用する場合については、従来通り無料とすべきと考えますがどうですか。</p>		市長
<p>(2) 「子ども・子育て支援事業計画」について問う</p>		
<p>① 「子ども・子育て支援法」の施行に伴い、本市でも「いきいきこどもプラン（子ども・子育て支援事業計画）」が策定されました。これは、今年度をスタートとし、5年間の計画ですが、平成29年度を目途に見直すともされています。計画の基本理念は、『「子どもを安心して生み、喜びをもって子育てができる社会の実現」をめざします』としています。市として、この計画にかける思い、気概について伺います。</p> <p>② 事業計画については、内容が多岐に渡り、ボリュームもありますので、その中の何点かにしぼって伺います。</p> <p>ア 放課後児童クラブ事業について</p> <p>a 学校生活を終えた子どもたちが家庭に帰るまでの子どもの成長にとって重要な「時」を過ごすわけですが、そのほとんどが十分な施設とはなっていません。今後、どのように改善を図っていく計画なのか伺います。</p> <p>b 人材の確保（とりわけチーフとなる人）が大切です。このことについてどのように考えていますか。</p>		

<p>イ 保育事業について</p> <p>a 保育士の確保はもとより、保育の質の向上のためには、保育士の給与等の待遇改善が求められます。市としての考え方と支援策について伺います。</p> <p>b 政府は、「子育て支援員」制度を打ち出していますが、さらに労働条件の低い「子育て支援員」を作れば、保育の質の低下・保育士の専門性の否定につながると考えますが、どうですか。</p> <p>c 新制度はすべての保育施設・事業に企業の参入を認めました。子ども・子育て事業に営利を目的としてはなりません。本市の現状と考え方を伺います。</p> <p>d 現在モデル事業として実施している5歳児健診の現状と今後の方向性について伺います。</p> <p>e 市は、第3子の保育料の無料化を廃止しました。今後はどのようにするのか、計画の理念からして当然元に戻すべきと考えますがどうですか。</p> <p>f 市の待機児童の現状と対策についてどうなっているのか伺います。</p> <p>ウ 義務教育終了後の支援事業について この事業については、計画ではほとんど触れられていません。今後どのようにされるのか伺います。</p>	<p>市長</p>	
---	-----------	--

質問者	3 湯 浅 啓 史	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 「ふるさと教育」および「キャリア教育」の考え方と実績について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 「キャリア教育」について <ul style="list-style-type: none"> ア その意味と具体的な取り組み イ アントレプレナーシップ（起業家精神）教育との違い ウ どのように計画され、いかに評価されるものか ② 現在小中学校で進められている「ふるさと教育」および「キャリア教育」について <ul style="list-style-type: none"> ア 本年度「ふるさとへの夢・活力創生事業」として実施する目的と期待される効果 イ 具体的な取り組み方法と実績 ウ まち・ひと・しごと総合戦略の中でどう位置付けられるのか 		教育長
(2) 出雲科学館の活用について		
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲科学館の有効活用について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲科学館の利用実績 ・学校教育利用および一般利用 イ 産業科学技術の学習・啓発事業および科学技術知識の普及啓発事業の実績 ウ 夜間利用に対する要望 		教育長

質問者	4 神 門 至		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 安心して暮らせる高齢者支援について		健康福祉 部長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者（65歳以上）人口の現状 <ul style="list-style-type: none"> ア 市全体における高齢者数と高齢化率 イ 地域別における高齢者数と高齢化率 ウ 市全体における年齢別人数と要介護・要支援認定者数（65歳～69歳、70歳～74歳、75歳～79歳、80歳～84歳、85歳以上） エ 市全体における一人世帯の高齢者数 ② 高齢者の就労者数と未就労者数の現状 ③ これまでの高齢者福祉計画・介護保険事業計画の課題と成果 ④ 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の具体的な支援施策 			
(2) 多伎町海洋観光開発株式会社株の無償譲渡について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 会社の概要（財務状況を含む） ② その完全民営化の経緯と方法 ③ 市保有株を無償譲渡する理由 			

質問者	11 伊藤 繁 満	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 指定管理者制度の適正な運用と課題について伺います。		記 事
<p>① 本制度の目的について伺います。</p> <p>② 本制度の導入以降、現在の指定管理の状況について伺います。</p> <p>ア 全施設の箇所数</p> <p>イ 指定管理団体数</p> <p>ウ 指定管理料の最小、最大額</p> <p>エ 雇用人員数の状況と正規、非正規の別、男女別、障がい者雇用の状況</p> <p>オ 敷地、建物等（物件）に係る賃貸借の状況の有無</p> <p>③ 本制度導入以降、市民サービスの向上等、具体的な効果を伺います。</p> <p>④ 指定管理料について「採算性の高い施設は、利益還元納付金を納める」と規定した内容について。このことは、ヒヤリング時に過度の競争が生じ利益追求型になり易く、公の施設としての重要な安全性や信頼性が低下したり労働条件の低下を招く等、社会的規範に問題が生じかねず、行政側が求めることではないと考える。又、全物件について、賃貸借契約締結が可能ではないか。併せて見解を伺います。</p> <p>⑤ 総務省自治行政局長通知は、これまでどのように理解され運用されてきたのか伺います。</p> <p>⑥ 本制度が適正に運用され指定管理者が地域活性化の原動力として、又その施設が地域の拠点となるように配慮すべきではないか。この為にも、出雲市が規定している8項目の選定基準について見直しを行う必要があるのではないか。併せて見解を伺います。</p>		市長

質問者	8 原 正 雄		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 十間川の改修促進について		都市建設 部長	
① 十間川の J R 山陰本線上流の改修計画の策定予定について 伺う。 ② 十間川支川保知石川の改修計画の策定予定について伺う。			
(2) 神戸川左岸堤防と R 9 号線間の地域の交通対策について		都市建設 部長	
① 神戸川左岸の側道が全面舗装に合わせ供用となり、又、大 島農免道は R 4 3 1 から、R 9 号のラッシュ（渋滞）時の 迂回路となっており、このところ事故等が発生している。 ア 安全対策について伺う。 イ R 9 号の都市計画 4 車線の実施はどうなっているのか 伺う。 ウ 大島農免道を市道とし歩道は出来ないか伺う。 ② 9 号線を横断出来る南北線の設置は考えられないか伺う。			
(3) 水源涵養の森林整備について		市長	
① 来年 2 8 年 8 月 1 1 日が山の日として祝日となりますが、 出雲市としてこれを契機として水源涵養として森林整備の 新たな計画は考えられないか伺う。			

質問者	26 勝部 順子	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) いじめ防止の取り組みについて		記事
<p>① 一昨年9月に、「いじめ防止対策推進法」が施行され、各自治体で基本方針の作成や組織の設置など対策が進められています。各学校においては、日頃からの地道な未然防止の取り組みが重要です。8月3日松江市教育委員会は、市立小学校の保護者からの申し立てがあったいじめ事案について、いじめ防止対策推進法に基づく「重大事態」に該当すると認定されました。「いじめ防止対策推進法」に基づく「重大事態」は、出雲市で2014年度に1件、県内で初認定されています。</p> <p>ア 出雲市教育委員会は2015年4月、市内小中学校に児童生徒が相談しやすい体制づくりを求める通知が出されています。</p> <p> a 相談しやすい体制とは。</p> <p> b 通知を受けた、小中学校の現状について。</p> <p>イ 教育委員会は、「1年半にわたるいじめに学校側が気付かなかったのが問題」と説明されています。</p> <p> a 問題点は何なのか。</p> <p> b 今後の方針について。</p>		教育長
(2) 地域の防災力向上のために、「防災士」の養成を		
<p>① 全国の自治体では地域防災力強化のために、様々な取り組みが行われています。近年、防災士は地域防災力強化に貢献すると注目を集めており、自治体による地域防災力向上の取り組みのひとつとして、住民の皆様に「防災士」の資格取得を奨励し、助成金を交付する自治体が多く見られるようになりました。防災に関する知識と技能を習得し、地域や職場で防災力を高める活動が期待される「防災士」。権限や責務を持たない民間資格でありながら、2003年の制度創設以来、防災意識の高まりから認知が広がり、近く全国で10万人に達する見通しです。出雲市でも、「防災士」の養成に取り組まれることを願うものです。</p> <p>ア 出雲市内の防災士の資格取得者の現状について</p> <p>イ 防災士資格取得費用・防災士教本代・受験料・認証手続料に対する助成についての考えについて</p>		防災安全 管理監